

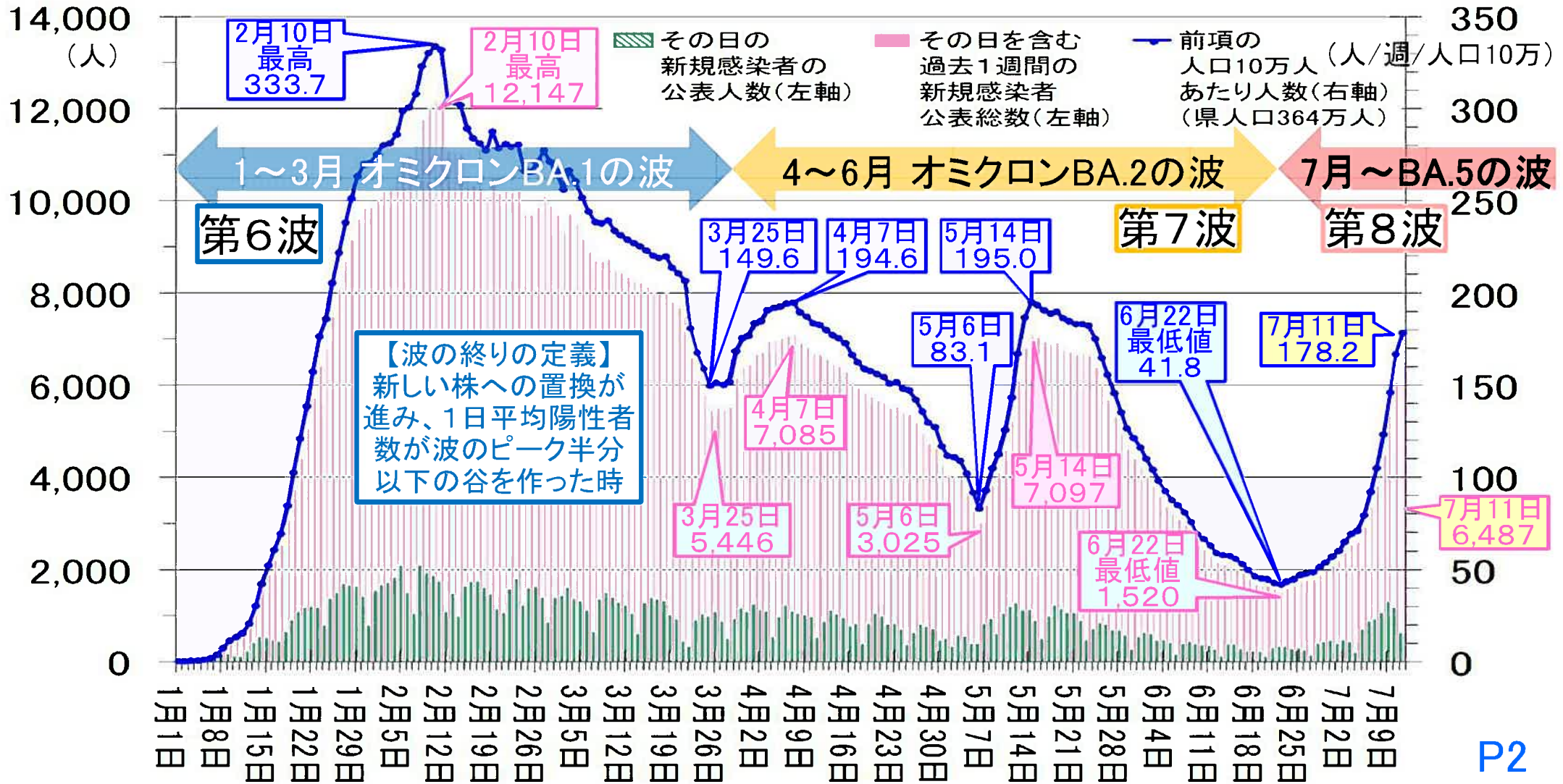
令和4年7月14日(木)
第3回新型コロナウイルス感染症に係る
経済・雇用対策有識者会議 説明資料

県内の新型コロナウイルス感染者等の状況



静岡県健康福祉部
感染症対策局

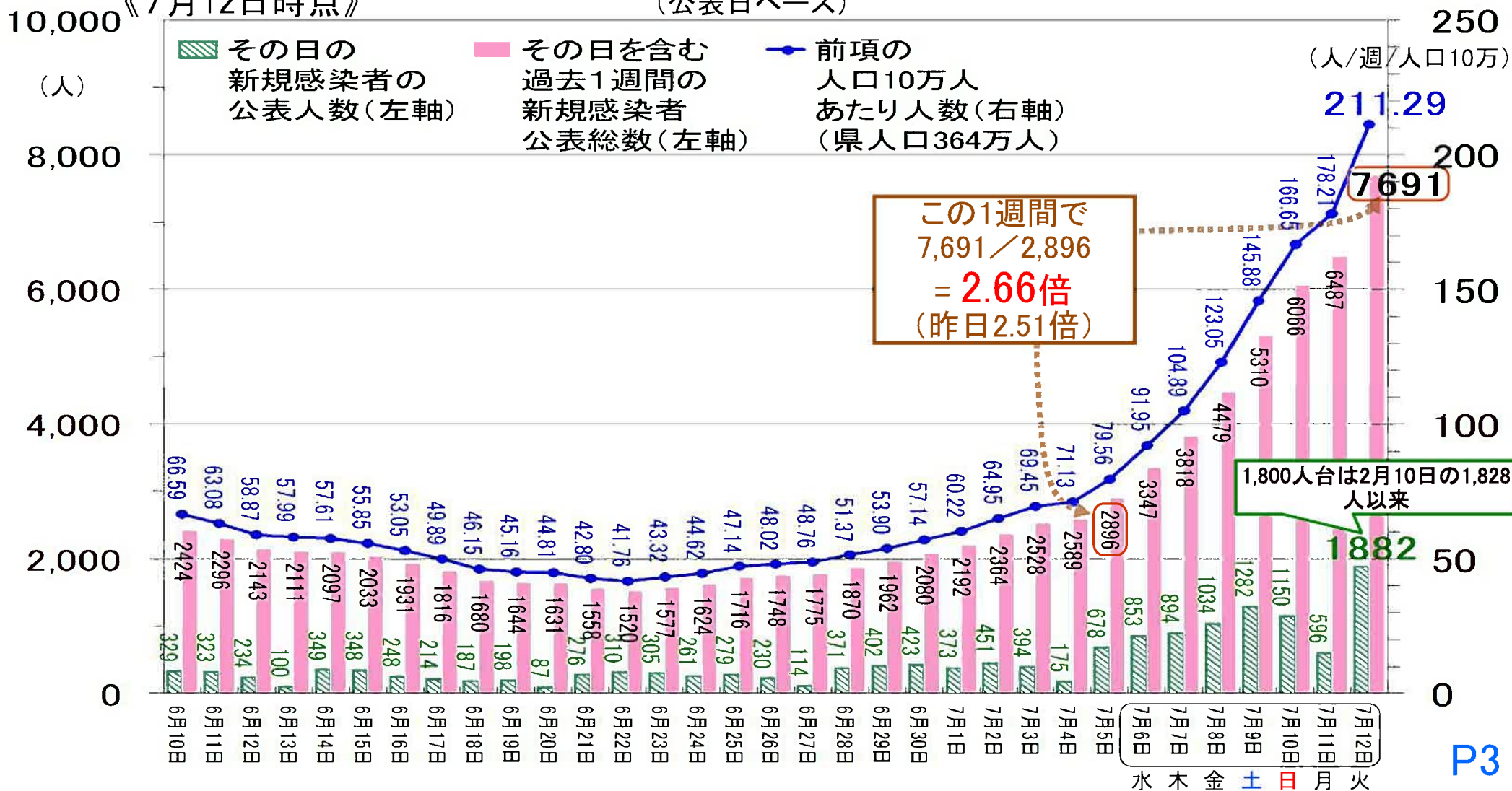
静岡県の第6波以降 これまでの全体像(1/1~7/11)



静岡県直近1か月の新型コロナ新規感染者数の状況

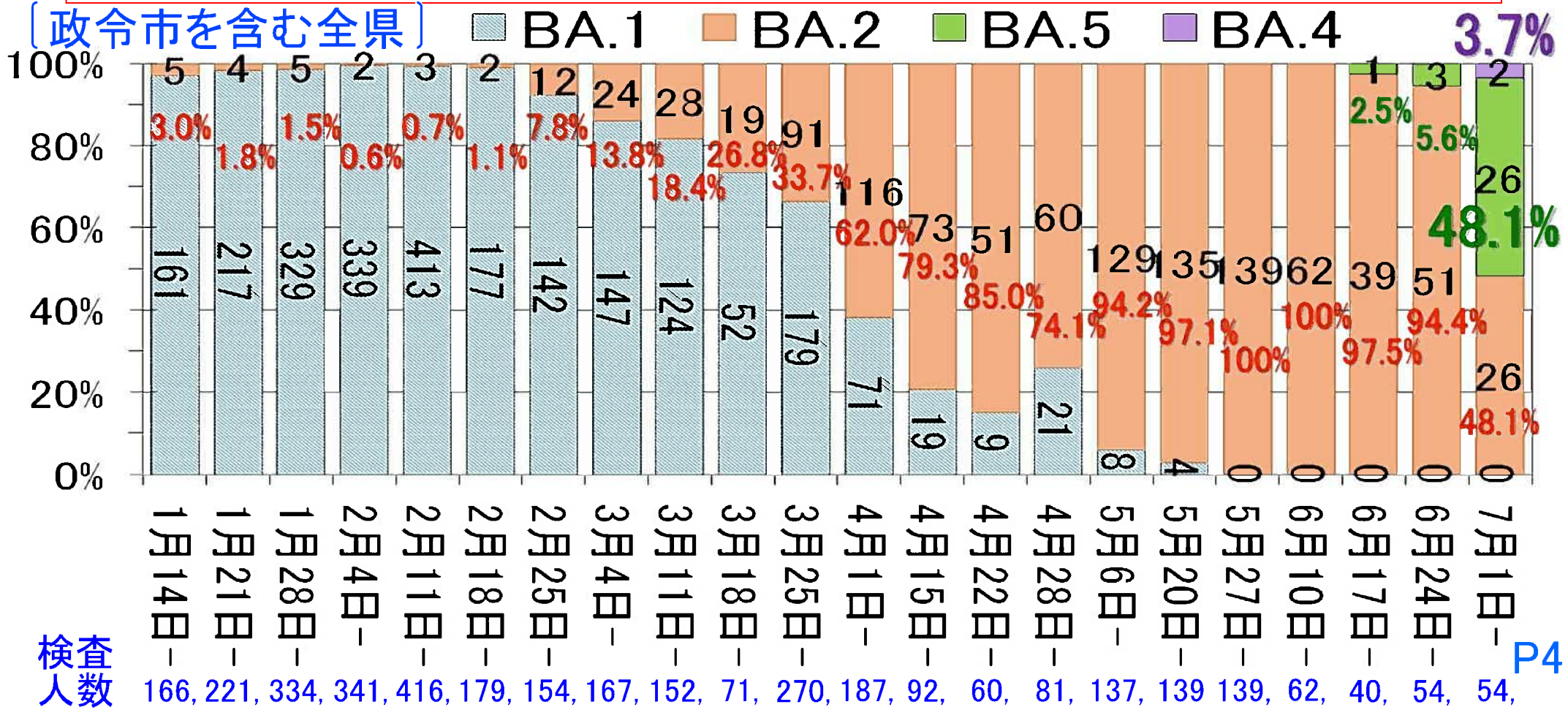
《7月12日時点》

(公表日ベース)



オミクロン株BA.1とBA.2の割合の推移 (1/14~7/6)

オミクロン株全体の中でBA.2が占める割合は、2月下旬より増加し始めて、5月上旬に90%台となり、5月末より100%となり、6月中旬よりBA.5が検出され直近で約半数。



検査人数

入院、宿泊療養施設、自宅療養者、自宅待機者の状況

○入院の状況(7月12日正午現在)

コロナ患者受入病院の地域別及び重症者の病床占有率

区分	入院者数	即応病床数	病床占有率
県東部地域	28	174	16.1%
県中部地域	49	197	24.9%
県西部地域	50	185	27.0%
県全体	127 (32)	556 (45)	22.8%
うち重症者	0 (0)	51 (16)	0.0%

※県全体、重症者欄のかつこ内は、施設数。

○宿泊療養施設の状況(7月12日正午現在)

区分	施設数	総客室数	療養者用客室数(A)	入居者数(B)	占有率 B/A
室数等	8施設	1,122室	958室	277人	28.9%

○自宅療養者数、自宅待機者数(7月11日17時時点)

区分	人数(人)
自宅療養者数	7,890
自宅待機者数	33

※自宅待機者数は、療養先が未定の者、療養先は決まっているものの入院又は宿泊療養施設入居を待っている者の合計。

<6月22日時点 ※第6波の底>

○入院の状況(6月22日正午現在)

コロナ患者受入病院の地域別及び重症者の病床占有率

区分	入院者数	即応病床数	病床占有率
県東部地域	18	182	9.9%
県中部地域	11	236	4.7%
県西部地域	12	197	6.1%
県全体	41 (22)	615 (45)	6.7%
うち重症者	0 (0)	55 (16)	0.0%

※県全体、重症者欄のかつこ内は、施設数。

○宿泊療養施設の状況(6月22日正午現在)

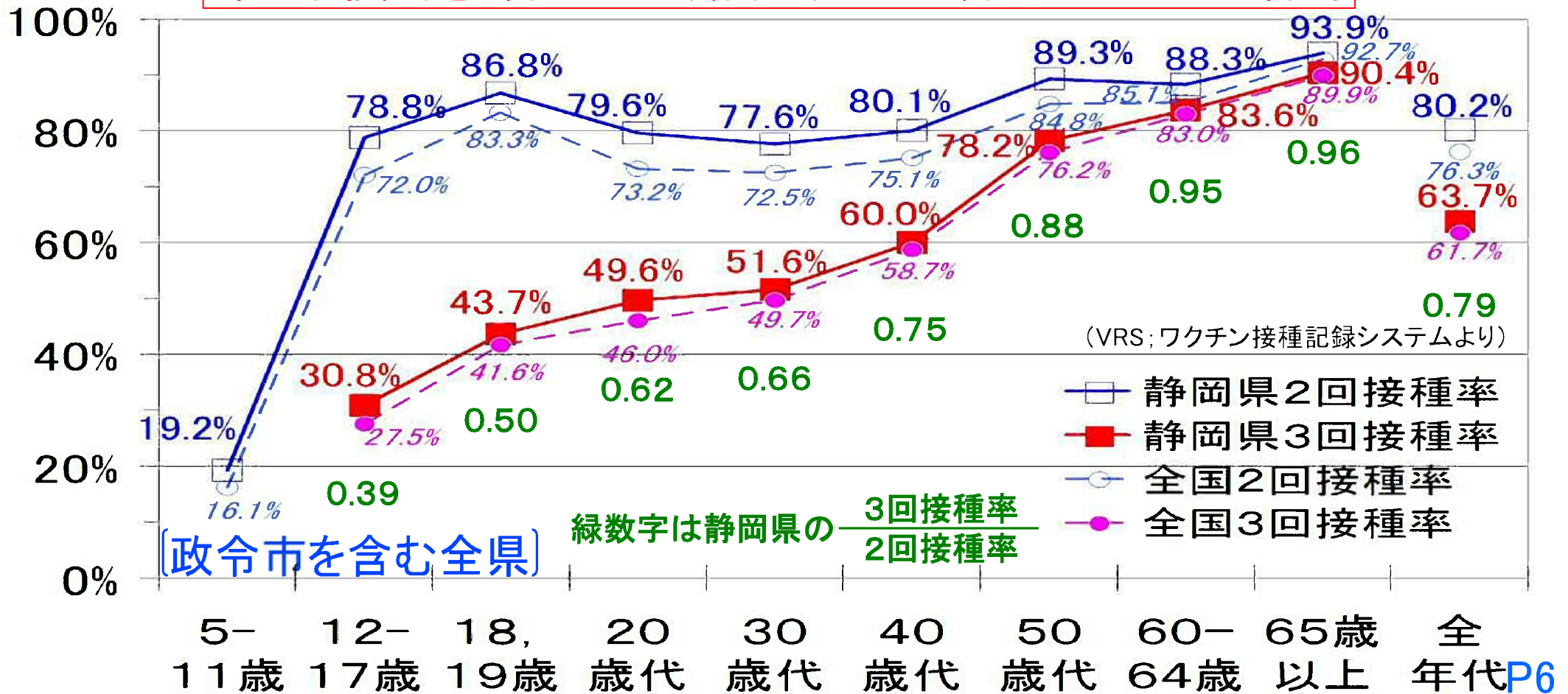
区分	施設数	総客室数	療養者用客室数(A)	入居者数(B)	占有率 B/A
室数等	8施設	1,122室	958室	58人	6.1%

○自宅療養者数、自宅待機者数(6月22日17時時点)

区分	人数(人)
自宅療養者数	1,899
自宅待機者数	5

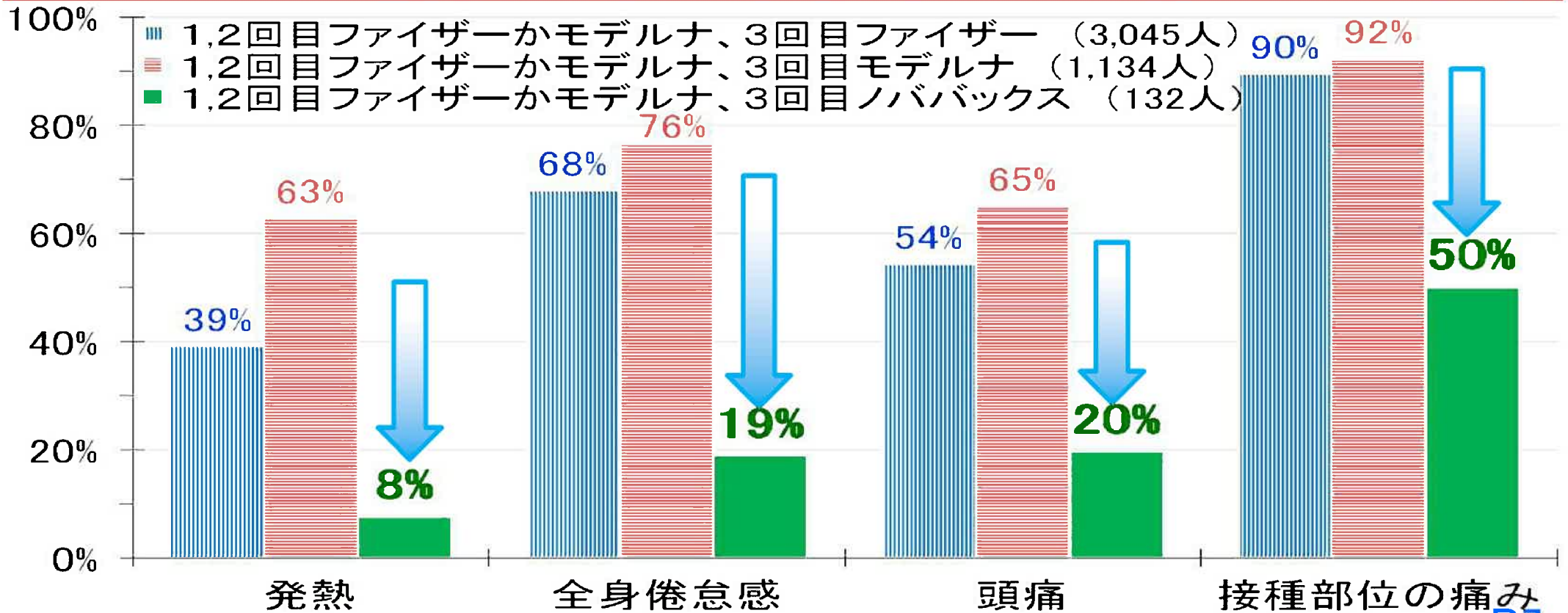
県と国 コロナワクチン年代別接種率（7/4時点）

- ・県の3回接種率は、50歳以上は78%以上、40歳代60%、30歳代51%となる。18～20歳台も40%台となり、12～17歳も30%を超えた。
- ・県の3回接種率を全国と比べると、各年代すべてで全国より0.5～3.6ポイント高い。



ノババックス ワクチン3回目接種後の副反応頻度(7/7時点)

- ファイザーやモデルナワクチンの2回接種後、静岡県の大規模接種会場で3回目にノババックスワクチンを接種した方へ副反応の状況を調査させていただき、132人に回答をいただいた時点(7/7朝)で結果をまとめた。
- 132人のうち2回目後の副反応に比べ、3回目のノババックス後の副反応の方がつらかった人は4人のみだった。
- ファイザーやモデルナの3回目接種後の副反応調査結果と比べて、ノババックス3回目は副反応が少なかった。

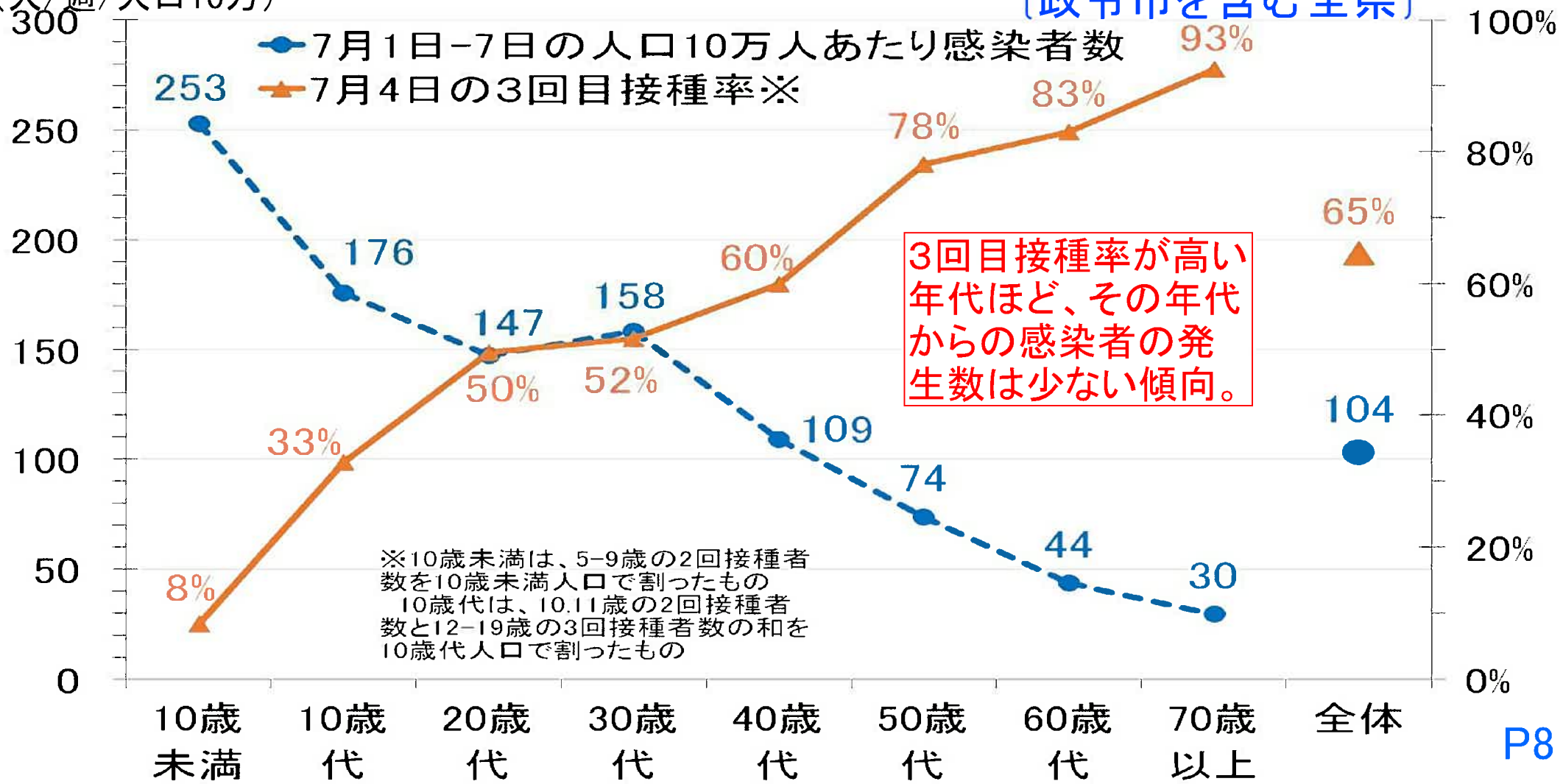


(順天堂大学コロナワクチン研究事務局のデータ 及び 静岡県新型コロナ対策推進課調べ より)

静岡県 年代別 3回目接種率と人口10万人あたり1週間感染者数 (7/1~7)

(人/週/人口10万)

[政令市を含む全県]



3回目接種率が高い年代ほど、その年代からの感染者の発生数は少ない傾向。

静岡県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議(7/11)からの御意見

専門家会議から、次のようなご意見をいただいた。

1 本県の感染状況の評価

○国が定義する評価レベルを、1から2に引き上げる

レベル1：安定的に一般医療が確保され新型コロナに対応できている

レベル2：新規陽性患者が増加傾向にあり、医療の負荷が始まるが適切な対応が可能な状況

2 医療提供体制等

○コロナ対応病床の確保

レベル1に対応した病床数の縮減を中断し、現在の病床数(550床程度)を維持

○感染に不安を感じる人を対象とした無料検査を再開

3 県民への呼びかけ

- オミクロン株では、飲食店の時短制限や県民に対する行動制限は不要
- これまで実施してきた基本的感染対策(マスク着用、三密の回避、手指消毒、換気等)をしっかりと実施
- 熱中症は重症化する可能性があるため、感染予防より熱中症予防を優先
- ワクチン接種の推奨(特に若い世代への接種を推奨)

マスクは常に携行しましょう！ 場合別マスク着用の参考表

周囲の人の状況 屋内/屋外	自分1人のみ	同居人のみ	同居人以外の人々 (事例の赤字は国通知の事例)			
			2m以上離れている		2m以内にいる	
			ほとんど 会話無し	会話・発声 あり	ほとんど 会話無し	会話・発声 あり
屋内 ※1 	不要 例) 1人で部屋で過ごす	不要 例) 家族で居間で団らん	不要 例) 図書館で席を離れて座り自習	推奨 ※2 例) 離れた席でおしゃべり	推奨 例) 通勤電車・バスの中	推奨 例) 狭い会議室での会議、カラオケ、麻雀
屋外 	不要 例) 1人で散歩や自転車	不要 例) 家族でハイキング	不要 例) 静かにランニング・サイクリング・釣り	不要 例) 密にならない外遊び・テニス	不要 例) 徒歩通勤、静かな行列、野外観劇	推奨 例) 繁華街・観光地の人混み、友人とBBQ、球技観戦

* 就学前の子どもには、マスクは原則不要

* 高齢者や基礎疾患のある人、またはそのような方と接する人は、マスク着用を推奨

* マスク着用なしで咳やくしゃみをする際は、口鼻をハンカチやそででおおう(咳エチケット)

※1; 車内(電車、バス、自家用車等)を含む

※2; 十分な換気等の感染対策をしている場合はマスクを外すことも可

！ 熱中症の危険が高い状況では、コロナ感染予防よりも熱中症予防を優先する！



関係団体代表者 各位

静岡県経済産業部長

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための
基本的な感染対策の徹底等について

日々、新型コロナウイルス感染症対策につきまして、御理解と御協力をいただきありがとうございます。

現在、全国的に新型コロナウイルス感染者数が急激に増加しており、本県においても、直近1週間の新規感染者の総数は7月12日時点で7,691人と、前週と比べて2.66倍と急拡大し、病床占有率も22.8%と20%を超えています。

こうした新規感染者数及び病床占有率の増加等を踏まえ、7月12日に静岡県内の評価レベルが1から2に引き上げられました。

感染拡大防止のためには、県民一人一人が基本的な感染対策を徹底することなどが重要となりますので、下記の点について、貴団体の関係者の皆様への周知をお願いします。

記

1 基本的な感染対策の徹底等

○事業所内の定期的な換気、3密回避

○従業員等に対して、以下の事項の周知

- ・会話時や人混みでの不織布マスクの着用、定期的な換気、3密回避、手指消毒等の実施
 - ・発熱、鼻水、咳、喉の違和感等の症状が出た場合、入社せず、医療機関を受診
 - ・3回目、4回目のワクチン接種が済んでいない場合のワクチン接種の検討
- ※4回目は60歳以上の人や基礎疾患のある人などが接種対象

2 その他

現時点では、飲食店の時短、イベントの中止や人数制限、他の都道府県との往来の自粛などのいわゆる「行動制限」は不要です。